

平成22年度 各会計決算を認定



昨年の事業はどうであったか！

平成22年度各会計歳入歳出決算額

| 区分 | 決算額 | | |
|------|------------|------------|------------|
| | 歳入 | 歳出 | |
| 一般会計 | 77億4,784万円 | 74億4,757万円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 31億4,299万円 | 31億1,527万円 |
| | 老人保健医療 | 1,079万円 | 1,059万円 |
| | 公共下水道事業 | 9億5,840万円 | 9億5,774万円 |
| | 後期高齢者医療 | 3億8,884万円 | 3億8,297万円 |
| 介護保険 | 16億8,125万円 | 16億4,564万円 | |
| 上水道 | 収益的収支 | 5億130万円 | 4億4,317万円 |
| | 資本的収支 | 1億2,847万円 | 2億3,961万円 |

9月14日から開会した「第4回定例会」に、町長から平成22年度各会計決算認定案が提出され、議員全員で構成する「決算特別委員会（佛圓委員長、山吹副委員長）」を設置し、審査を行った。

委員会では、事業ごとに詳細な説明を受け、会計関連の帳簿等の審査や質疑を交えた入念な審査を行い、本会議での委員会報告により原案のとおり認定した。

決算特別委員会での質疑をピックアップ！

- Q** まちづくり交流拠点（K-jin）は、交付金がなくなったら今後どうするのか。
A 事業の継続に関しては、収益性が見込め、地域住民の関心が高いものとして、絵紙事業を考えている。年間を通して体験・展示・販売等ができるようにしたい。
- Q** 今後、介護保険施設を増やす方向か。
A 現在、第5期介護保険事業計画を策定している。向こう3年間の計画の中でどのような施設が必要かなどを高齢者保健福祉推進協議会で意見をもらいながら、今年度中に事業計画を策定する。
- Q** コーポラスに空き部屋があるようだが、これを埋める方策を考えているか。
A 東日本大震災の際に6部屋を避難用に整備した。大きな災害による複数世帯の非難を想定したときに、町民会館の和室だけでは対応できないと感じたため、これらは現在募集を控えている。しばらくは様子を見たい。

平成22年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、右記の指標について、いずれも「財政健全化団体」及び「財政再生団体」としての基準を下回っており、本町の財政状況は良好な状態であるという監査委員からの意見が、本会議に報告された。

- 健全化判断比率**
 ・実質赤字比率 ・連結実質赤字比率
 →共に赤字額がないため算定されない。
 ・実質公債費比率 11.4%
 ・将来負担比率 58.8%
- 資金不足比率**
 ・水道事業（法適用）・下水道事業（法非適用）
 →共に資金不足額がないため、算定されない。

平成22年度における各部門の主要事業

総務部門

- 定住交流促進事業（2,893万円）
 →まちづくり交流拠点（出来庭 K-jin）や熊野筆情報発信拠点（広島駅ビル）の整備など、まちづくり協働による定住交流人口の拡大に取り組んだ。



▲アッセ（広島駅ビル）にある熊野筆セレクトショップ



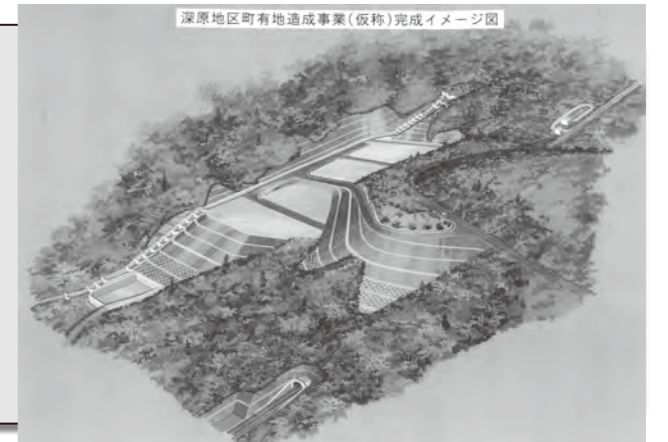
▲建替えられたくまの中央保育園の園舎

民生部門

- 保育所整備事業（1億4,595万円）
 →平成22年4月1日からの旧中央保育所民営化に伴い、保育所緊急整備事業の補助金として支出。

建設部門

- （国庫）深原地区町有地造成事業（7,991万円）
 →東広島・呉自動車道や矢野安浦線の整備と併せ、新たに町有地を整備することにより、地域産業の活性化を図る。主に用地買収を実施。



▲深原地区町有地造成事業（仮称）完成イメージ図



▲建替工事を行った第三小北校舎

教育部門

- 小学校大規模改造事業（2億4,724万円）
 →第三小北校舎の耐震化として、建替工事を実施。また、平成21年度に耐震調査を実施した第一小西校舎については、耐震補強のための実施設計を実施。